

人間と思想	科学の哲学
-------	-------

[講義] 第1学年 前期 選択 2単位

《履修上の留意事項》【遠隔授業のみ実施】

講義では生物学に関する哲学的内容を扱うが、生物学に関する知識は講義中に適宜解説するので、受講に際して前提にしていない。

《担当者名》森元 良太（リハ）

【概 要】

この講義では、現代哲学の一分野である科学哲学を学ぶ。科学哲学は自然科学の成果を踏まえて哲学の諸問題に取り組み、また自然科学の基礎や方法論などを分析する学問分野である。まず、哲学の歴史を学び、哲学とはどのような学問かを理解する。次に、科学のなかでも医療に関連する生物学をとりあげ、生物学に関連する哲学的問題について検討する。

【学習目標】

私たちの常識や思考の枠組みは時代とともに大きく変わってきた。この講義では、現代に生きる私たちの思考の枠組みを理解するため、古代から現代までの哲学の流れを学ぶ。

科学は現代の知識の代表とされ、医療の場面でも不可欠である。科学のなかでも医療に関連する生物学に関する哲学的問題を検討することで、現代の思考の枠組みを理解する。

生物学に関連する哲学的問題を具体例として考察することにより、科学的な知見に対して批判的に検討する必要性を理解し、批判的思考法も習得する。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	哲学小史	哲学史を学ぶ。古代ギリシアから現代までの哲学の枠組み、およびその変化を理解し、現代に生きる私たちの思考の枠組みを説明できる。	森元
2	哲学小史	近代から現代に至る転回について学び、科学哲学の基本事項を概説できる。	森元
3	ダーウィン進化論	チャールズ・ダーウィンによる生命の樹仮説と自然選択説を説明できる。	森元
4	ダーウィンの独創性	ダーウィンの考えの独創性を概説でき、また仮説と証拠の関係を説明できる。	森元
5	進化論に基づく思考の枠組み	進化論に基づく思考の枠組みを理解し、正常と異常の区別についての変遷を説明できる。	森元
6	進化論的世界観	物理学的な世界観と比較しながら進化論の描く世界観を説明できる。	森元
7	レポートの書き方	レポートの書き方を習得し、適切なフォーマットで執筆できる。	森元
8	進化論的世界観のまとめ（課題提出）	正常と異常の区別の変遷の課題についてまとめたレポートを提出。	森元
9	利他性とは何か	自分を犠牲にして他人を救う利他性の考えとその謎を説明できる。	森元
10	遺伝子の視点からみた利他性	利他性の存在を説明する血縁選択説を学び、遺伝子の視点から進化を考える枠組みを概説できる。	森元
11	群れの視点からみた利他性	利他性の存在を説明する群選択の考え方とその問題点を説明できる。	森元
12	利他性の謎をめぐる論争	利他性の謎をめぐる論争の対立点を列挙し、論争の背後にある枠組みを説明できる。	森元
13	発生と進化の関係	発生学と形態学の歴史を学び、進化と発生の関係の変遷を説明できる。	森元
14	進化発生学がもたらした概念や理論の変化	発生学と進化生物学の統合による概念や理論の変化を理解し、新しい生命観を概説できる。	森元
15	利他性の進化と発生学的説明のまとめ	利他性の進化と発生学的説明をまとめたレポートを提出。	森元

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
	め (課題提出)	出。	

【評価方法】

期末レポート100%で評価する。レポートはルーブリック評価表を用いて評価する。

【備考】

教科書：森元良太・田中泉史 著 「生物学の哲学入門」 勁草書房 2016年

参考書：エリオット・ソーバー 著 「進化論の射程」 春秋社 2009年  
アレックス・ローゼンバーグ 著 「科学哲学」 春秋社 2011年

【学習の準備】

授業では知識を提供することが多くなるが、哲学は自分自身で考えることが重要な学問である。哲学者の議論を自分で再構成することは、批判的思考法を習得するにも効果的である。そのため、授業までに次回扱う教科書の範囲を予習すること(80分)。また、授業後にも授業内容について教科書と配布プリントを用いてしっかり復習をすること(80分)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP5